

## 第4回 国立市立学校給食センター整備運営事業 PFI 事業者評価委員会 議事録

日時	令和3年4月13日(火) 10:00~12:00
場所	国立市役所3階 第1・2会議室
出席者	<b>委員</b> 安登利幸委員(亜細亜大学都市創造学部都市創造科 教授)【委員長】 堀端薫委員(女子栄養大学栄養学部 准教授) 林立也委員(千葉大学大学院工学研究院 准教授) 林薫委員(白梅学園大学子ども学部 教授) 井原静香委員(令和元年度市立学校給食センター運営審議会委員)【副委員長】 久保麻理委員(令和元年度市立学校給食センター運営審議会委員) 小林理人委員(国立第二小学校 校長) 久保直子委員(市立学校給食センター 栄養士)
	<b>事務局</b> 教育委員会 橋本教育次長 教育委員会教育総務課 古川課長、立花主任 学校給食センター 宮本主査
	<b>事務局支援</b> 建設技術研究所東京本社都市部 PFI・PPP室 長南、北村、猪股

### 1. 配布資料

- 次第
- 資料1 提案内容に関する追加質問事項(第3回)
- 資料2 提案書の概要(第1・2回質問事項付記)
- 資料3 採点用紙(参考:第3回評価委員会時点、各委員の個別評価記載資料)
- 資料4 評価結果案

### 2. 審議内容

#### 開会・挨拶

- 委員長より、開会の挨拶を行った。

### 3. 確認事項

#### (1) 会議の進め方

- 事務局より、会議の進め方・評価結果案の作成スケジュールについての説明を行った。
- 

### 4. 協議事項

#### (1) 事業者のプレゼンテーション及び事業者へのヒアリング(Aグループ)

- Aグループによるプレゼンテーション及びヒアリングを実施
- 残渣の削減率について質問があった。⇒【事業者】想定削減率の回答があった。
- 地下スペースの活用方法と省エネ基準への考え方について質問があった。  
⇒【事業者】地下スペースの広さや工法上の利点と事業者が想定する使用方法について回答があった。カーボンニュートラルに関するKPIについての考え方の説明があった。

- 発達障害の児童の対応協力への謝辞があった。食物アレルギー対応への評価と種々の研修について依頼があった。  
⇒【事業者】給食事業以外のノウハウについて説明があった。  
展示の工夫について依頼があった。
- 手作り給食についての頻度や、人員体制などについて質問があった。  
⇒【事業者】手作り給食についての考え方や人員配置などの対応について回答があった。
- 
- 手作り調理における成型等の作業区域について質問があった。  
⇒【事業者】今後、市と協議する旨、回答があった。
- 配送計画について質問があった。  
⇒【事業者】想定している配送計画の回答があった。
- アレルギー対応の確認作業について質問があった。  
⇒【事業者】これまでの経験と想定している内容について回答があった。
- 地下空間の使い方と必要面積について質問があった。現在の課題について情報提供があった。  
⇒【事業者】地下スペース創出の経緯について説明があった。
- 地下空間の利用方法と設備の上方移動について質問があった。  
⇒【事業者】地下空間の利用方法・設備の移動、費用負担と浸水時の対応想定について回答があった。
- 【洗浄作業について質問があった。  
⇒【事業者】洗浄時間と人員配置について回答があった
- 従業員の勤務時間について質問があった。  
⇒【事業者】シフトについて回答があった。
- 現給食センター職員の雇用について、質問があった。  
⇒【事業者】雇用についての考え方について回答があった。
- 【事務局】設計変更についての費用負担の質問があった。  
⇒【事業者】費用は提案の範囲内で実施する旨の回答があった。
- 冷暖房設備や清掃についての質問があった。  
⇒【事業者】冷暖房設備や定期清掃についての回答があった。
- 【安登委員長】審査結果については市 HP にアップするが、個別に電話でもご連絡する。時期は今月の下旬を予定している。

## (2) 意見交換

- 質疑に対して各委員間で意見交換が行われた。

## (3) 最終評価

- (各委員にて採点)

<休憩>

## (4) 最終評価の確認

- 【事務局】最終評価の結果、技術点は700点中435点となった(後日、434.38点に訂正)。後日、開札を行うが、予定価格を超えていなければ価格点は300点となり、合計734.38点となる。最終的には市で確認した上で決定するが、グループAが選定事業者になると思われる。

## (5) 評価結果の検討

- 【安登委員長】評価結果の内容については、事務局にて検討し、後日委員へ送付するので、ご確認いただきご指摘等あればご意見いただきたい。
- 【事務局】今週の金曜日頃に送付したいと考えているので。返送の締め切りは送付時にメールにてご案内させていただきます。
- 【安登委員長】評価委員会は今回で終了となる。各委員より一言コメントをいただきたい。
- 子ども達のためにこれだけの大人が真剣に検討し、子どもにとって保護者にとってありがたい。また、PFI手法となるまでの紆余曲折もあったが、国立市民に喜んでもらえる給食センターになるよう、予算・人員に制限はあるが最善を尽くそうという会に参加できて良かった。
- 、国立市のように保護者の方が真剣に関わる自治体はあまりない。施設が出来上がって終わりではなく、それからが始まりなので、今回参加いただけたこと自体がこれからの活動を円滑にする良いきっかけになると思う。最終的に1社の応募があり、経験豊富な事業者かと思うので今後良い事業が展開されることを祈念する。
- このような機会をいただきありがとうございます。これからSPCが設立されるが、次の課題は市がどれだけ事業をマネジメントできるかになる。本日も「協議して」という発言が何度もあったが、その協議が提案書以下になってはいけないと思うので、マネジメント、モニタリングをしっかりと実施していただきたい。建物を建てる期間は短い、給食提供期間は15年間である。既存給食センターでは出来なかったこともあると思うが、市民の方からも新しい給食センターでは美味しくなるという大きな期待があると思うので頑張ってください。
- これからが本番であるため全力で取り組んでいこうと思う。専門外のこともあるのでご相談させていただきたいと思う。
- 子どもたちの給食の未来のために新たな給食センターを楽しみにしている。これからの動きを見守りつつ期待をしていきたいと思う。
- 提案書については、実績があるのは確認できたが、PFI事業の実績は少ないため辛口の評価をした。しかし、ヒアリングしたところ、柔軟に対応いただけることが分かり最終評価を引き上げた。国立市は市民の意識の高い自治体という印象があり本事業への関心も高く、期待も大きい。市と事業者とコミュニケーションを密にして良い結果を出していただきたい。また、市の管理能力が問われるが、必ず上手くいくと確信しているのでこれからもよろしくお願ひしたい。
- 【安登委員長】これをもって評価委員会を終了とする。

## 5. 今後のスケジュールについて

### (1) 今後のスケジュール

- 事務局より、今後のスケジュールについての説明を行った。

## 6. 閉会

以上